

基本政策Ⅴ

自然と調和した 快適で暮らしやすい まちづくり (都市基盤・都市環境)

●土地利用	111
●自然環境	113
●市街地整備・都市景観	115
●道路・交通	117
●公園・緑化	119
●循環型社会	121
●住環境	123
●上下水道	125

V-1 土地利用

ビジョン

自然環境と都市機能の調和のとれた暮らしやすいまちづくり

● 現状と課題 ●

- 今後、財政状況が厳しさを増すことが推測される中、市街地が拡散し人口密度の低い市街地が形成されると、市民一人当たりの行政コストが増大し、都市経営が厳しくなることが予想されます。
- 津波、洪水、土砂災害等の自然災害に備えた、安全な土地利用を行う必要があります。

基本的な方向性

「国土利用計画 阿南市計画」に基づき、本市の自然、社会、経済及び文化の実情に配慮し、健康で文化的な生活環境の確保と市土の均衡ある発展を図るとともに、人口減少、超高齢社会の進行を踏まえ、公共交通を軸とした集約型の都市圏を目指して土地利用の規制や誘導を図り、人口が減少しても将来にわたって誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを目指します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 集住型*のコミュニティづくりの推進

■ 主要な施策

- ▶ 多極ネットワーク型コンパクトシティ*の推進
- ▶ 阿南市都市計画マスタープラン*の見直し

■ 成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	
		2015年度	2024年度	2028年度
居住誘導区域内の人口密度	人／ha	41.6	40.0	40.0

関連する個別計画

- 阿南市都市計画マスタープラン
- 国土利用計画 阿南市計画
- 阿南市立地適正化計画
- JR阿南駅周辺再整備基本計画（案）

関連するSDGs

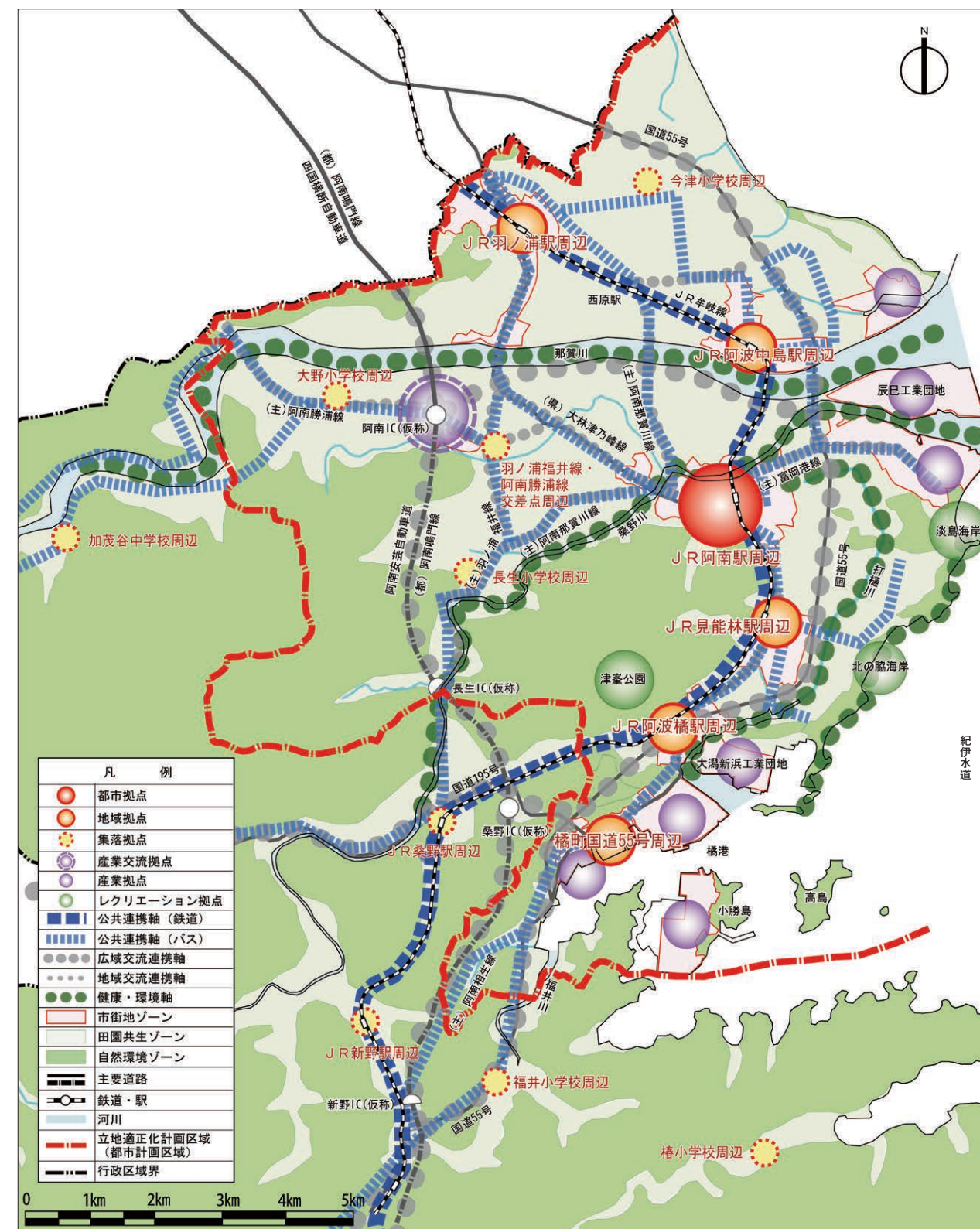


図 阿南市立地適正化計画の「将来都市構造図」

V-2 自然環境

ビジョン

豊かな自然環境と調和する持続可能なまちづくり

● 現状と課題 ●

- 国は、ポストコロナにおける「成長の源泉」として、グリーンとデジタルを掲げ、「2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現」を宣言しています。この宣言を推進エンジンとして、野心的なイノベーションに挑戦する企業を、今後10年間、継続して支援する2兆円の基金の創設を打ち出して、環境と成長の好循環を目指そうとしています。
- 本市では、「阿南市環境保全率先行動計画（区域施策編）」において「市民総ぐるみで推進するスマートシティあなん」を将来像とし、市域全体で省資源・省エネルギー化を徹底する環境配慮型都市の実現に向けて、各種施策を実行しています。
- 地球温暖化による気候変動、開発等による生態系の変化、人口減少や高齢化による自然環境保全活動の担い手不足等によって、今後、本市の豊かな自然環境への影響が懸念されることから、官民が一体となって環境に配慮した行動を実践する必要があります。

基本的な方向性

「阿南市環境基本条例」「阿南市環境基本計画」「阿南市環境保全率先行動計画」に基づき、2050年のカーボンニュートラルの実現や海洋汚染といった地球規模の環境問題の解決に向け、市民一人ひとりの環境にやさしいライフスタイルの定着や省資源・省エネルギーの取組を推進します。

本市の豊かな自然環境の保全と利活用を推進し、環境負荷の少ない持続的発展が可能な自然と調和した都市づくりを目指します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 自然環境保全の推進

■ 主要な施策

- ▶ 環境施策の総合的推進
- ▶ 地球温暖化対策の推進
- ▶ 市民の自主的な環境保全実践活動の支援
- ▶ 生物多様性ホットスポット*の保全と持続的な活用
- ▶ 那賀川自然再生事業（那賀川河川事務所）の推進
- ▶ 市民や事業者へのカーボンニュートラルにつながる行動の普及・啓発

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
環境（生物多様性・カーボンニュートラル等）に関する講演会の開催回数	回	2	3	3

基本目標 2 持続可能なエネルギー事業の推進

■ 主要な施策

- ▶ 持続可能なエネルギーミックス*の推進
- ▶ バイオマス産業都市*の推進

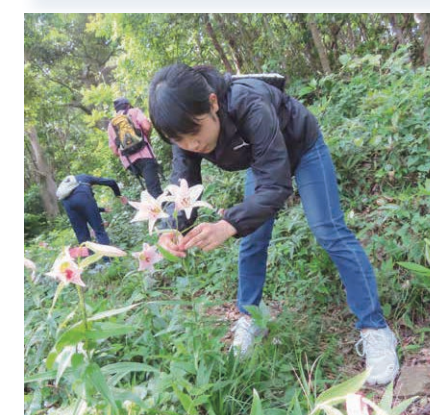
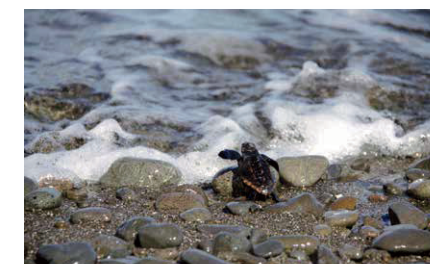
■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
次世代エネルギー*に関する勉強会等の開催回数	回	—	2	2

関連する個別計画

- 第3次阿南市環境基本計画
- 第4次阿南市環境保全率先行動計画（事務事業編）
- 阿南市環境保全率先行動計画（区域施策編）
- 生物多様性あなん戦略

関連するSDGs



V-③ 市街地整備・都市景観

ビジョン

官民連携で人が集う個性的で魅力あるまちづくり

● 現状と課題 ●

- 郊外での大型店舗の進出や車社会の進展により、中心市街地の空洞化が進み、空き家・空き店舗が増加しています。
- 今後、官民連携*による持続的・発展的なまちづくりを行うために、住民等によるまちづくり組織の設立が必要です。
- 阿南図書館及び市民会館は耐震性が不足しており、早急に対策を検討する必要があります。
- 図書館に求められるニーズは多様化しており、地域活性化の拠点となる図書館の整備に向けて、官民が協力して考え行動していくことが求められます。

基本的な方向性

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、駅等を中心とする各拠点に多様な都市機能と居住を誘導し集約型の生活圏の形成を図るとともに、市民との協働による良好な都市景観の形成を図ることで魅力ある市街地形成を推進します。また、阿南駅周辺の都市拠点においては、駅前広場や骨格道路の整備、官民連携による公共施設の統合、整理、複合化を検討するとともに、空き店舗や空き家、パブリックスペース*を活用したにぎわいづくりを推進します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 パブリックスペースを活用したまちづくりの推進

■ 主要な施策

- ▶ パブリックスペースを活用したイベントの開催
- ▶ 空き店舗・空き家の利用促進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
駅前芝生広場等のパブリックスペースを活用したイベントへの年間総来場者数	人	—	15,000	18,000
空き店舗・空き家を利用した地域活性化につながる拠点施設数	施設	0	2	3

基本目標 2 官民連携による市街地整備の推進

■ 主要な施策

- ▶ 官民協力手法を視野に入れた阿南駅前周辺整備
- ▶ まちづくりエリアプラットフォーム*の構築
- ▶ 官民連携による図書館等の公共施設の整備

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
産官学民*でまちづくりについて意見を交わせる場の開催回数	回	4	6	6

関連する個別計画

- 阿南市都市計画マスタープラン
- 阿南市立地適正化計画
- JR 阿南駅周辺再整備基本計画（案）

関連するSDGs



V-4 道路・交通

ビジョン

快適な道路交通環境の整備による安全・安心なまちづくり

● 現状と課題 ●

- 南海トラフ巨大地震や津波に備え、避難、復旧・支援道路としての機能を持つ道路整備が必要であるとともに、関西圏や中・四国との交流基盤として、四国横断自動車道及び阿南安芸自動車道（地域高規格道路）の早期整備を促進する必要があります。
- 令和2年4月1日現在、市道として管理している路線は2,254路線、総延長約848kmで、その管理・保全に努め、整備・修繕に年次計画的に取り組んでいるものの、国の交付金を活用して事業を行っている個別路線については、東日本大震災以降、道路整備に係る交付率が低率化しており、計画のとりの事業進捗が図れていません。
- 阿南駅西口に路線バスが進入できないため、鉄道と路線バスの交通結節点機能が脆弱となっています。

基本的な方向性

県南の中心都市として、産業力を更に高めるための基盤条件を強化するとともに、安全性・快適性の向上や防災対策を講じ、市内道路網の整備を計画的に進めます。

公共交通の利便性を向上させるため、市民の誰もが多様なサービスを楽しむことができるネットワークの維持・充実と阿南駅周辺地域の交通結節機能を強化するとともに、既存の公共交通資源のみにこだわらない、地域の実情に即した交通体系を構築します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 新規路線等の整備による交通ネットワークの充実

■ 主要な施策

- ▶ 市道の整備
- ▶ 阿南駅前広場及び駅周辺の骨格道路の整備推進
- ▶ 四国横断自動車道及び阿南安芸自動車道の整備促進
- ▶ 一般国道55号阿南道路と阿南インターチェンジ（仮称）を東西に結ぶ幹線道路の整備促進
- ▶ 地域活性化の拠点となる新たな「道の駅」の研究

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
交付金事業による市道整備の進捗率（延長ベース）	%	18.2	50.0	69.7

基本目標 2 市道の安全性・快適性の向上

■ 主要な施策

- ▶ 市道の適正な管理・保全
- ▶ 管理橋りょうの計画的な修繕

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
阿南市橋梁長寿命化修繕計画に基づく対策工事進捗率（箇所ベース）	%	—	9.3	18.1

基本目標 3 地域公共交通の核となるバス路線及び離島航路の確保・維持

■ 主要な施策

- ▶ 持続性のある地域公共交通の確保維持
- ▶ 地域ニーズに即した新たな移動モデルの構築
- ▶ 地域公共交通の利用促進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
路線バスフィーダー系統路線*の年間実車走行距離数	km	534,702	530,000	530,000

関連する個別計画

- 阿南市都市計画マスタープラン
- 阿南市橋梁長寿命化修繕計画
- 阿南市通学路安全プログラム
- 阿南市立地適正化計画
- JR阿南駅周辺再整備基本計画（案）
- 徳島県離島振興計画

関連するSDGs



V-⑤ 公園・緑化

ビジョン

安全・安心で快適な緑の憩いの広場を提供するまちづくり

● 現状と課題 ●

- 公園施設・遊具の老朽化が進む一方で、限られた財源の中、適切な維持補修・更新が厳しく、遊具の利用禁止・撤去等といった事態となっています。
- 安全で快適な利用の維持を確保するといった都市公園本来の機能を維持するためには、公園施設長寿命化計画に基づき計画的に維持補修、更新を行っていく必要があります。また、公園の統廃合を含め、公園施設配置の適正化を進める必要があります。

基本的な方向性

子どもから高齢者まで、幅広い世代が集い、交流し、運動や遊びに親しみながら、ふれあい、心の安らぎが得られる憩いの空間づくりのため、市民参画・協働の下、公園、緑地の整備、充実を図ります。市街地部においては、中心市街地の活性化に寄与する公園づくりを進めるとともに、公園施設の安全確保に努めます。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 市街地部等における公園の整備

■ 主要な施策

- ▶ 牛岐城趾公園や阿南西部公園の良好な維持管理
- ▶ 安全・安心に利用できる公園施設の整備・充実

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
牛岐城趾公園利用延べ人数	人	45,000	45,000	45,000
阿南西部公園利用延べ人数	人	38,000	40,000	40,000

基本目標 2 公園施設の維持管理

■ 主要な施策

- ▶ 遊具等公園施設の定期点検の実施及び日常パトロール
- ▶ 計画的な維持管理、補修・更新による公園施設の長寿命化

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
公園施設の維持管理委託団体数	団体	31	31	31

関連する個別計画

- 公園施設長寿命化計画

関連するSDGs



牛岐城趾公園



阿南西部公園

V-6 循環型社会

ビジョン

環境にやさしいまちづくり

● 現状と課題 ●

- 本市では、持続可能な循環型社会を形成することを目指し、ごみの減量化、リサイクル率の向上等に取り組んでいます。
- 令和元年度のごみの排出量は28,322トンで、平成27年度比で約1.36%増加しており、リサイクル率は19.67%で、平成27年度比で1.6ポイント低下しています。
- 大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会形成やライフスタイルの変化などにより、近年、ごみの排出量は微増しており、リサイクル率も向上していないことから、より一層の3Rなどの取組を強化する必要があります。

基本的な方向性

循環型社会を形成するため、市民や事業者のごみの排出マナーの向上や減量化に対する意識を高めるとともに、より一層のごみの減量化とリサイクル率の向上に努めます。そのため、「阿南市一般廃棄物処理基本計画」「阿南市環境基本条例」「阿南市環境基本計画」に基づき、資源ごみの有効利用と、ごみの適正処理を推進し、市民団体との連携、資源ごみ回収団体の育成、3R運動などを基本とした取組を行います。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 ごみの発生抑制とリサイクル率の向上

■ 主要な施策

- ▶ ごみの減量化・分別排出に対する市民意識の啓発
- ▶ ごみ処理施設の適切な運営
- ▶ 資源ごみ回収団体やごみ問題に取り組む市民団体の育成

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2015 年度	2024 年度	2028 年度
ごみ排出量（一般廃棄物）	トン	27,943	23,563	23,031
リサイクル率（再生利用量/ごみ排出量）	%	21.3	28.4	28.6

関連する個別計画

- 阿南市一般廃棄物処理基本計画
- 第9期市町村分別収集計画
- 第3次阿南市環境基本計画
- 阿南市環境保全率先行動計画（区域施策編）

関連するSDGs



ごみ処理施設「エコパーク阿南」（橋町小勝）

V-7

住環境

ビジョン

快適で暮らしやすい住環境を守るまちづくり

● 現状と課題 ●

- 本市では、快適な住環境を維持するため、「阿南市ポイ捨て等防止に関する条例」を制定し、市民・事業者・行政が連携して、不法投棄・ポイ捨て撲滅のための啓発活動や監視体制の構築に努めていますが、心無い人によるポイ捨て等が後を絶たないのが現状です。
- 人口減少や少子高齢化が進む中、高齢者や障がい者等の住宅の確保に配慮が必要な方、いわゆる要配慮者が今後も増加していくと推測されますが、現況の公営住宅は小家族向けに建築されているため受入れが困難となっており、要配慮者を十分にサポートできないのが現状です。

基本的な方向性

自然と調和した快適で暮らしやすい住環境を守るため、環境美化の啓発、監視体制の充実、各種法令の的確な運用を行い、住環境及び公衆衛生の向上を図ります。また、高齢者・障がい者・子育て世帯等の多様な世帯が安心して暮らし続けられるスマートウェルネス住宅*等の供給の促進に取り組むとともに、「阿南市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の維持・管理に努めます。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 良好な生活環境の保全

■ 主要な施策

- ▶ 環境保全・環境美化活動の推進
- ▶ 大気汚染・水質汚濁・騒音・振動・悪臭防止対策の推進
- ▶ 自然環境監視体制の充実

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
環境保全に関する公害等苦情件数	件	107	96	85

基本目標 2 快適な暮らしの支援

■ 主要な施策

- ▶ 住宅政策の総合的推進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
住宅セーフティネット*登録戸数	戸	—	3	7
スマート化工事*の実施戸数	戸	—	97	177

関連する個別計画

- 阿南市環境基本計画
- 阿南市公営住宅等長寿命化計画
- 阿南市耐震改修促進計画
- 阿南市空家等対策計画
- 阿南市一般廃棄物処理基本計画

関連するSDGs



V-8 上下水道

ビジョン

安全・安心な水ときれいな川を守るまちづくり

8-1 上水道

● 現状と課題 ●

- 本市では、人口減少、節水型機器の普及に伴い水需要が減少傾向にあります。今後、安定した事業運営を継続するためにも、財源となる水道料金制度の見直しが必要です。
- 水道設備の老朽化に伴う施設の維持、更新には、経営状況及び施設の需要予測を見極めた長期的な視点での統廃合や電子化なども考慮した維持更新計画の策定も課題となります。
- 近い将来、南海トラフ巨大地震の発生が予想されており、様々な危機事象に対し、予め危機管理体制の構築が必要です。有事において水道施設の機能が停止した場合には、住民自ら応急給水設備が利用できるよう、住民との連携体制の構築も推進する必要があります。

基本的な方向性

水道事業は水道施設の基盤強化及び維持管理を適正かつ合理的に行うことにより、安全・安心な水を適正な価格で安定的に供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与します。

また、水道事業は都市活動や市民生活を支える最も重要なライフラインとして、より信頼性の高い水道システムを構築し、お客様の要求に応じた質の高いサービスを提供していくことを目的に、「安全」「強靱」「持続」を基本理念とし、将来に受け継がれる水道事業の構築を図ります。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 災害に対して強靱な水道施設の整備

■ 主要な施策

- ▶ 水道施設の耐震化の推進による水道事業の基盤強化
- ▶ 水道資産の適正な管理体制の構築
- ▶ 非常時における業務継続体制の構築と住民連携の推進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
基幹管路*耐震化率	%	11.5	25.0	35.0

基本目標 2 水の安定供給と健全経営の維持

■ 主要な施策

- ▶ 収支予測を考慮した長期的視点による施設の維持更新計画策定
- ▶ 水道事業の健全な経営確保に向けた水道料金など供給規程*の見直し

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
有収率*（年間総有収水量*/年間総配水量*）	%	80.4	83.0	85.0

基本目標 3 安全で良質な水道水の確保

■ 主要な施策

- ▶ 徹底した水質管理による安全・安心な水の供給

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
水質基準値適合率（基準値内検体数/水質検査検体数）	%	100.0	100.0	100.0

関連する個別計画

- 阿南市新水道ビジョン
- 阿南市水道事業経営戦略



福井水源地



上水道配水管（加茂町）

8-2 下水道

● 現状と課題 ●

- 富岡雨水ポンプ場は平成18年から、富岡浄化センターは平成23年から運転を開始しており、これら下水道施設における機器は設置からの年数が経過することから、施設の老朽化が見込まれます。今後においては、ストックマネジメント計画を策定し、施設の計画的な改築・更新及び適切な維持管理を行い、安全で良質な下水道サービスの提供を維持する必要があります。
- 現在、4か所のコミュニティプラント*の維持管理及び下水道整備区域外における合併処理浄化槽設置を推進するため、補助金を交付していますが、建築後約50年を経過したコミュニティプラントもあり、建替えも含めた早急な整備が求められます。
- 羽ノ浦農業集落排水処理施設*は、経年劣化による施設の修繕等が増加しています。また、人口減少による収入の減少も予想され、計画的な維持管理を行う必要があります。
- し尿処理施設*「阿南市クリーンピュア」は、運転開始（平成11年）から20年以上が経過していることから、施設の改良・定期的な機器の更新を行っています。今後においても計画的な改良・更新を行い、安全・安心な「し尿処理施設」として維持管理を行う必要があります。

基本的な方向性

心地よく住みやすいまちづくりを目指し、公共用水域の水質保全を図るとともに、市民の衛生的で快適な生活環境を整備するため、公共下水道及びコミュニティプラント、集落排水施設、し尿処理施設の適正な維持管理を行います。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 生活排水の水質向上

■ 主要な施策

- ▶ 小型合併処理浄化槽*設置による水質向上

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現 状 値	目 標 値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
小型合併処理浄化槽設置整備事業補助金の交付件数	件	229	300	300

基本目標 2 下水道施設・し尿処理施設の計画的な維持管理

■ 主要な施策

- ▶ 下水道施設の維持管理（改築・更新）
- ▶ 羽ノ浦農業集落排水処理施設の維持管理
- ▶ し尿処理施設（コミュニティプラントを含む）の維持管理

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現 状 値	目 標 値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
公共下水道ストックマネジメント計画策定施設数	施設	—	3	3
羽ノ浦農業集落排水処理施設への接続率	%	94.6	96.0	97.0
「阿南市クリーンピュア」の運転において排水・排ガス等が管理値*を超えた件数	件	0	0	0

関連する個別計画

- 阿南市公共下水道事業計画（打樋川処理区）
- 阿南市生活排水対策推進計画
- 阿南市一般廃棄物処理基本計画

関連するSDGs

